



# デジタル時代における 学術資産の社会還元 と継承に向けて

**OCT 11, 2022**  
**17:00-18:30**

Online with Zoom

## ●趣旨

グローバル日本学教育研究拠点では、デジタル日本学部門を新設し、人文・社会科学系の教育・研究のデータ駆動型への転換に取り組んでいます。大阪大学の擁する知的資源をデジタル化して社会に還元することは、そのような取り組みの柱の一つです。このことを踏まえ、今月のワークショップでは、この領域の第一人者である永崎研宣先生（人文情報学研究所主席研究員）に、デジタル・アーカイブの構築を主題としてご講演いただき、意見交換を行います。本拠点の今後の事業展開を構想するうえでの貴重な機会となりますので、学内外の多くの方にご参加いただければと思います。

開催言語：日本語

Presentaiton: 永崎 研宣  
主席研究員 人文情報学研究所



<https://forms.office.com/r/wurTP3XyIp>

10月7日10:00までに登録してください。

Pre-registration is required by 10:00 on Oct 7

# BIOGRAPHY



## 永崎研宣

(一般財団法人人文情報学研究所)

- 一般財団法人人文情報学研究所主席研究員
- 日本学術振興会人文・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業センター研究員 (PO)
- 国文学研究資料館客員教授
- 筑波大学大学院博士課程哲学・思想研究科単位取得退学
- 博士 (関西大学・文化交渉学)

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所COE研究員、山口県立大学国際文化学部助教授等を経て一般財団法人人文情報学研究所の設立に参画。これまで各地の大学研究機関で文化資料のデジタル化と応用についての研究支援活動を行ってきた。

学会関連活動としては、情報処理学会論文誌編集委員、日本印度学仏教学会常務委員情報担当、日本デジタル・ヒューマニティーズ学会議長、TEI Consortium理事等を歴任。著書に『文科系のための情報発信リテラシー』(東京電機大学出版局、2004年)、『日本の文化をデジタル世界に伝える』(樹村房、2019年) など。

